

科目名		担当教員名	学期
年金と保険 Pension and Insurance		徳島 勝幸 宮井 博	前期
目的	年金と保険について、それらの制度と仕組み、商品設計の概要、資産運用の方法、保険会社の健全性や年金財政評価などを総合的に学習することにより、個人及び機関投資家のポートフォリオを考えるうえで必要不可欠な基礎的知識の修得を目指す。		
概要	年金と保険はともに、長期にわたる給付の約束である。マイナス金利政策の導入等運用環境の低迷、企業会計基準の変更、公的制度の見直しなど大きな環境変化の中で、過去に行った給付の約束を十分に果たせない可能性が高まってきている。この講義科目では、第一に、制度及びファイナンス的観点の両面から、年金や保険という約束に存在する前提を紹介する。第二に、その前提が変化する中でどのような誤算が年金や保険に生じたのかを明らかにする。第三に、将来の「新しい約束」のルール作りに向けて、公私の年金と保険の双方についてその改革の方向性を考えていきたい。担当は、徳島（保険計算と会計・制度、生命保険会社の運用・ファイナンス、公的年金制度）、宮井（企業年金制度、年金のファイナンス・運用）とする。なお、宮井の担当部分においては、資産運用における分散投資の効果について理解を深めるため、エクセルを用いた実習を計画している。		
到達目標	年金と保険の基本的仕組みを知り、健全な仕組み作りのために必要な知識の習得と理解を目標とする。		
成績評価の基準と方法	各講義時間の最後に小テストを行う。受講生には一定回数以上の出席が求められる。出席回数を満たした受講生に対して、出席時に提出した小テストの点数に基づいて成績評価を行う予定。		
履修条件	ファイナンス I の履修を終えていること（現在価値の計算を理解できること）。		
授業計画			
第 1 週	イントロダクション（年金と保険の位置づけ全般）		
第 2 週	概論：経済活動と年金・保険の役割、問題点		
第 3 週	保険料算出の基礎（エクセルを用いた計算実習）		
第 4 週	保険会社の負債、ソルベンシーマージン、保険会計		
第 5 週	保険会社の運用と組織		
第 6 週	保険会社のリスク管理・ALM		
第 7 週	損害保険及び高齢化の影響		
第 8 週	日本の公的年金制度の現状と課題①－財政検証		
第 9 週	日本の公的年金制度の現状と課題②－被用者年金一元化		
第 10 週	日本の企業年金制度-制度、歴史、実情		
第 11 週	企業年金制度改革-確定拠出年金の導入と投資教育		

第 12 週	年金資産運用の現状、運用基本方針の策定
第 13 週	退職給付会計の基礎、年金 ALM と資産運用
第 14 週	オルタナティブ投資、公的年金の資産運用等の今日的課題
第 15 週	年金と保険を巡るディスカッション
テキスト 参考書等	講義時間に資料を配付する。 参考書は講義時に指示する。
その他 特記事項	特になし。